



PRESS RELEASE

2011年7月7日

シトロエン、2011年上半期の国内登録台数 前年比プラス69.2%を達成 ～ コンパクトモデル「C3」、「DS3」の好調が牽引、過去10年で最高の登録台数 ～

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社(東京都渋谷区 社長:ティエリー・ポワラ)は、2011年1月～6月のシトロエン車の新車登録台数実績を1,418台(2010年同期:838台、前年比+69.2%)*と発表しました。この数字はプジョー・シトロエン・ジャポン設立以来最高で、過去10年でも最高の記録となります。

*JAIA(日本自動車輸入組合)調べ 2011年1-6月新車登録実績より

シトロエンの日本国内における最人気車種は、5ドアコンパクトハッチバックの「C3」(1.6ℓ/4AT/209万円～)で、ブランド全体の約40.3%を占めています。頭上まで広がる「ゼニスフロントウインドウ」とカラフルなボディカラー、そして手頃な価格設定が話題となり、多くの新規顧客を獲得しました。

一方、3ドアコンパクトハッチバック「DS3」(1.6ℓ/4AT、6MT/249万円～)も全体の28.5%を占める人気モデルとなりました。ボディとルーフカラーなどが選べる「ビークルパーソナリゼーション」や、6速マニュアルトランスミッション搭載車を設定するなど、個性的なキャラクターが好評を得ています。また、ホームページ上で受注を受付ける「DS3 Webstore」をオープン、インターネット限定モデルを発売するなど、ユニークな販売促進も大きな効果を上げています。

また、昨年価格改定を行ったフラッグシップモデル「C5」(1.6ℓ/6AT/399万円～)は全体の12.2%を、今年2月にマイナーチェンジを行った7人乗りのMPV「C4ピカソ」(1.6ℓ/6EGS/349万円～)は15.9%を占めています。

下半期には5ドアハッチバック「新型C4」(1.6ℓ/4AT、6EGS/256万円～)が加わり、ラインアップの充実によるさらなるマーケットシェアの拡大が期待されます。

「3月の悲劇的な震災にもかかわらず、シトロエンは今年の1-6月も昨年に引き続き好調で、おかげさまで大変いい成績にて後半戦を迎えることができます。さらに7年振りのフルモデルチェンジで生まれ変わった新型C4は、今のシトロエンの好調をさらにバックアップしてくれるものと期待しています。また、秋には待望のDS4も市場に投入される予定です。下半期も全スタッフがー丸となり、このモチベーションを保ちつつ、年末までに3,100台の登録台数を目標に邁進していく所存です」と、社長のティエリー・ポワラはコメントしています。

プジョー・シトロエン・ジャポンでは、新型車を中心に下半期も引き続きシトロエン車の販売を強化、幅広いラインアップをアピールし、ブランド認知をさらに向上させて参ります。